

社会資本総合整備計画（第4回変更）

平成28年1月29日

計画の名称	27 安全で利便性の高い交通環境の創出			重点計画の該当
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	静岡県、吉田町	
計画の目標				

平成21年6月に開港した富士山静岡空港の利活用を勘案し、地域間の連携や空港・港などの交通拠点としての連携を視野に入れたまちづくりを目指し、吉田町内の主要な道路について、安全で利便性の高い道路整備を行う。快適な道路空間及び市街地空間を形成し、東西方向の国道150号の慢性的な渋滞解消や南北方向の吉田漁港、東名IC、富士山静岡空港をつなぐ交通の円滑化や流通の拡大を図るとともに、良好な生活環境を確保する。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の移動時間を短縮し、「生活環境の満足度」及び「交通環境の満足度」を高める。（短縮率11.5%） ・良好な街並みが形成されていると思う割合を高める。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)	
実地走行調査により、事業区間を含む幹線道路の総走行時間を測定し、それに対し、どれだけ走行時間が短縮できるかを百分率で示す。 $\text{（総走行時間の短縮率）} = \text{（短縮される走行時間）} \div \text{（整備前の総走行時間）} \times 100 \text{（％）}$	0% (12.2分)		11.5% (10.8分)	() 内は総走行時間(分)
まちづくりに関する住民意識調査において、「良好な街並みなど心地よい景観の形成がなされている」に「満足」「やや満足」と回答した住民の方の割合	23%		28.5%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,791 百万円	A	1,560 百万円	B	0 百万円	C	231 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	12.9%
-------	------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	---------	---------------------------	-------

交付対象事業

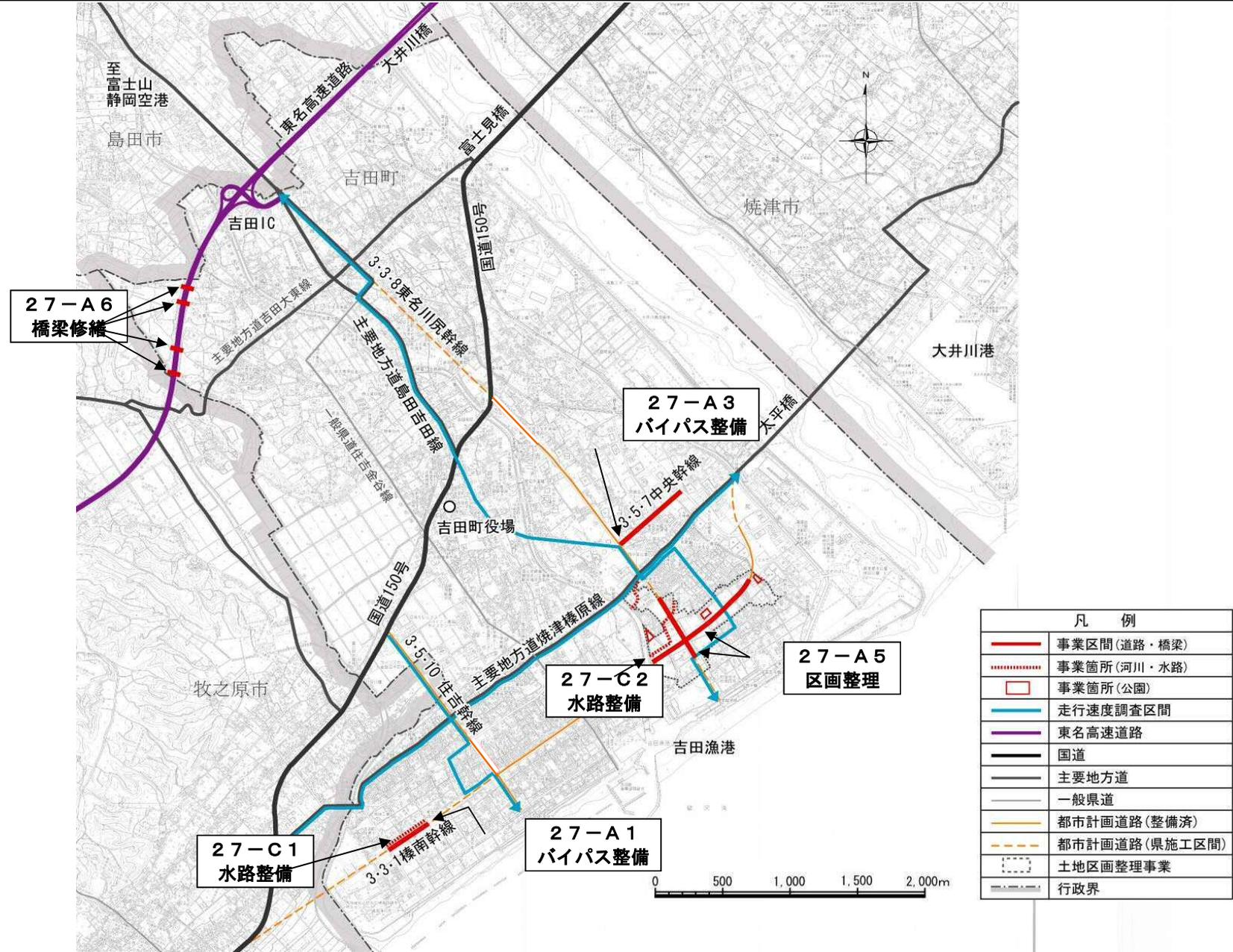
A 道路事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
											H24	H25			H26	H27	H28
27-A1	街路	一般	吉田町	直接	—	S街路	改築	榛南幹線（新田工区）	延長L=355m	吉田町						194	
27-A3	街路	一般	吉田町	直接	—	S街路	改築	中央幹線	延長L=612m	吉田町						41	
27-A5	街路	一般	静岡県	間接	浜田区画 整理組合	区画	改築	浜田地区（（都）榛南幹線外）	区画整理A=37.1ha	吉田町						1,278	
27-A6	道路	一般	吉田町	直接	—	市町村道	橋補	北原東2号線、青柳北原4号線	橋梁補修 4橋	吉田町						47	
											小計（道路事業）					1,560	

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業 主体	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）							
										H24	H25	H26			H27	H28	
											合計					0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

社会資本総合整備計画（参考図面）（第4回変更）

計画の名称	27 安全で利便性の高い交通環境の創出	交付対象	静岡県、吉田町
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）		



凡 例	
	事業区間(道路・橋梁)
	事業箇所(河川・水路)
	事業箇所(公園)
	走行速度調査区間
	東名高速道路
	国道
	主要地方道
	一般県道
	都市計画道路(整備済)
	都市計画道路(県施工区間)
	土地区画整理事業
	行政界

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：27 安全で利便性の高い交通環境の創出

都道府県名：静岡県、吉田町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 3 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 ⑤ その他(静岡県社会資本整備重点計画、吉田町総合計画)</small>	
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が期待できる。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○